



題字 原田 親

No. 481

2006/7/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都台東区浅草橋2-2-3
浅草橋ビル5階
電話 03(5629)2140(代)
FAX 03(5629)2141
http://www.jcf-jcfr.jp
E-mail: nicchu@nicchu.jp
郵政 10119-1-21178

日中友好協会
岡山支部
〒700-0034
岡山市北区下伊福
西町1-53 民生会館1F
TEL: FAX 0861 250-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福成町通3461-41
TEL: FAX 0861 481-7860

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
メールアドレス
nicchuokayama@yahoo.co.jp



倉敷支部

第二回総会のご案内

倉敷支部の会員のみなさん。5月に開かれた第55回全国大会を受けて、総会を左記のとおり開きます。皆さんの「出席をお願いします。」

と き * 06年7月9日(日) 午後2時～
と ころ * 倉敷労働会館 二階会議室
(倉敷市稻荷町)

原告二人が「あいさつ

6・11支部総会で

今回は、中国 残留「孤児」国家賠償請求訴訟岡山原告団の高杉団長と高見事務局長の発言を紹介します。

高杉さんは、まず中国語であいさつ文を書き、それを日本語に直し、日本語教室で岩間先生に手を加えてもらいました。完成した日本語のあいさつ文を、一所懸命に練習しました。当日は、非常にわかりやすい日本語であいさつされました。長岡日本語教室で週3回、熱心に学習した成果が現れたと思います。

高見さんは、総社教室での勉強の様子を、日本語で書いたメモをもとに発言しました。少し緊張していましたが、西森さんによれば、総社から岡山までの車のなかでは、二人日本語で楽しく会話をしながら、総会に参加したとのことでした。「ここでも日本語教室の成果が現れています。」

高杉団長の発言

みなさんこんにちは、残留「孤児」訴訟原告団の高杉です。日中友好協会 岡山支部総会おめでとうございます。帰国残留「孤児」と日中・岡山との交流は、2003年7月の中国残留孤児資料展「からはじまり、その後3年になつていきます。」

日中・岡山のみなさんは、帰国者にいろいろと熱心に支援してくれました。特に孤児裁判や日本語教室など、いろいろお世話になつています。帰国者たちは、非常に感謝しています。ほんとうにありがとうございます。

いま日本語教室では、先生方も努力してがんばっています。残留「孤児」の訴訟は、裁判中ですが、みなさん 今後ともよろしくお願いします。

(原文のまま)



高見事務局長の発言

私は高見英夫です。今日は、総社市中国 残留「孤児」日本語教室の一周年です。生徒は五人です。赤沢さん、富岡さん夫婦、王さんと私です。週2回です。木曜と日曜です。

王さんは最近はいってききました。十六歳のむすめさんです。わかいので私とちがつて日本語をおぼえるのがとても早いです。私は、一年前から、ここで日本語を勉強するようになって、いろいろとわかってきました。

あいさつをおぼえました。字もかけるようになりました。さる、しか、ね、いぬ、バス、トマトなど、日本語をいっぱい勉強しました。

大森先生、にし森先生、ただ先生、難波先生たちのおかげです。私はこの一年間で、たくさんたくさん勉強できました。

ありがとうございます。私はこれからもがんばって勉強します。

いじょうです おわります (原文のまま)



倉敷支部結成記念 中国の旅 紀行文 ①

わたしが見た 感じた 考えた

日中友好は正しい 歴史認識で

栗本泰治

今回の日中友好 西安・北京の旅は、いい仲間と一緒できたこともあってほんとにいい旅でした。

中国へ行くたびに大きな変化に驚かされ、その発展ぶりに感心するのですが、今回は世界遺産や中国の歴史に触れることができ、新たな感銘を受けました。

西安の長安区を訪ね、副区長さんや区の幹部の方と懇談しましたが、心の底から友好を望んでおられることがよくわかりました。私たちは固い握手をして日中友好を誓い合いました。日本と中国は一衣帯水の隣国、二千年も前から友好往来があったのに、最近の事態には心が痛みます。

西安では秦始皇帝兵馬俑博物館をはじめ大雁塔、阿倍仲麻呂の記念碑など、北京では万里の長城、故宫博物館、盧溝橋、中国人民抗日戦争記念館などを観ました。

今日は、その中で中国人民抗日戦争記念館を見た感想を述べることにし

ます。この記念館には五年ほど前にも行ったことがあります。今度行ってみて記念館の展示がすこし変わったことと、通訳の曹陽さんの解説が印象的でした。入り口には、1931年の満州事変以来の日本がどんな意図を持って中国に侵略したか、パネルで詳しく説明した展示があり、曹陽さんの説明もそのことに多くの時間が割かれました。前回のときは、残酷な侵略行為の数々は過去のことは歴史の鏡として、今後の日中友好を」と、むしろ後半部分に力点がありました。しかし、今回は違いました。日本の中国侵略の歴史認識に重きがおかれていました。これは小泉首相の靖国参拝問題や教科書問題などに見られる、日本政府の歴史認識に対する不信感の表れと感じました。日中戦争は、日本軍が他国の領土に来て、多くの中国良民を殺害し、領土を占領しようとした侵略戦争です。その説明には反論の余地がありません。中国の歴史を訪ねると、そのまま日本の過去を学ぶことになり、これからの日本の進路を考える機会でもありました。日中友好は、日本が正しい歴史認識をもとにすすめる以外にないと、あらためて確信した旅でした。(倉敷支部理事長)

3都市で詳しい調査 きびしい分析

6月24日(土)午後2時から、岡山市表町のきんかく岡山一会議室で、川崎医療福祉大学の姜波教授が講演。30人(女17人、男13人)が参加しました。

会はさんかくウイーク行事のひとつで、同時に日中友好協会岡山支部の第77回日中文化講座でした。

姜波さんは、上海・大連と岡山で子育てについて調査し、結果をパワーポイントを使って分かりやすく科学的に比較考察されました。



日中岡山 第77回文化講座

高い評価の 姜 講演会

日本・中国の子育て事情



女性が働けば子育て進む

まず男女の年令別の就労形態について、日本は子育てをする30代の女性の就業率が45%であるのに対し、中国ではそれが80%と倍近いこと、フランスやスウェーデンでは女性の就業率の高さが出生率の高さと関連していることが示され、日本で子育ての条件と環境をととのえる必要が指摘されました。保育園の待機幼児2万人あまり。

(厚生白書2005)

岡山に根強い三歳児神話

ついで「子どもは3才になるまで主に母親が育てるべき」とする三歳児神話について、「日本の高度成長期、一九六〇〜七〇年代に、幼児期と母子関係の重要性が強調された。その後、この神話は俗説として否定されたのに、若い世代のあいだで依然として神話が残っているといえます。」

倉敷支部結成記念 中国の旅 紀行文 ①

兵馬俑とパソコン

大森保子

中国はなぜあれほど広大なのだろうか。いつも思う。それにしても強行な旅程と感じたのは私一人だけだろうか。中国時間で行動し「もう」というガイドの説明は中味が深い感じがした。

中国人民抗日戦争記念館内の写真に目が釘付けとなった。やっとお座りができるくらいの子が一人泣き叫んでいる姿だ。こんな事がなぜ起きたのか。「ごめんねさー」と心で断りながら……。デジタルカメラのシャッターを押した。心が痛んだ。

秦始皇帝兵馬俑博物館は2度

最後に姜さんが、すてきな提言を！

大学教育は親でなく教育ローンで、若者みずから勉学する責任と自立心を育てること。

アンケート 高い回答率

30人の参加をいただき、その中18人の方からアンケートが寄せられ質問が多く出されました。講演内容への高い評価だと思われる。以下、抜粋します。

- * こういう講座は、たびたび開いていただきたいと思えます。
- * 中国の一子制度は耳にしたことがあるが、子育てを観る機会がなかったのが興味があった。岡山では「三歳児神話」の信者が多いという話に驚いた。遅れているのですねー、岡山は。
- * 三歳児神話と男女共同参画のことをもっと結びつけて話が聞けたら、よかったです。
- * 今まででは考えたこともなかった考え方を聞いて、とてもよかったです。私も三歳児神話を信じていた人でした。中国の事情についてもっと詳しく聞きたいと思いました。
- * 今日のお話を、若い方たちにも聞いてもらいたい内容でした。宣伝を増やしたほうがいいと思います。
- * よいお話だったと思います。日本は社会保障がすすんでいると

いう話ですが、そうではないと思います。貧富の差もはげしくなっていると思えます。

* 岡山のNPOは子育てをテーマにした団体が非常に多いと思えますが、自分たちだけの「評価感」だけで活動し、他からの「智慧」を得ることに消極的であるように感じます。こういった事業を通じて広い視野を持てるようにして行くことは、必要であり急を要する事だと思えます。

* 中国からみて、日本の三歳児神話というのは俗説であると聞いて、たいへん有意義でありました。日本は男女、年齢別、M字型就労ということで、子育てをする30代の女性の就業率が45%もあります。子ども同志がいつしよであることが大切。ともだちつくりが必要で。

(以上九通のご意見)

〇印で評価の項

得ることが多かった」11票
 おおむね充実してよかった」4票
 普通であった」1票

次回の新聞送付作業は7月11日(火)午後1時半、民主会館2階で行ないます。前回お手伝いくださった方です。

林山和製 竹内服部 三垣

短信

目だった。土の中から壊れた備を掘り出し、どれだけ時間がかかるかわからないが再現していく。気を失うくらい細かい作業を知った。その時、パソコンを使って仕事を処理していた女性を見た。時代が瞬時に飛んで、なんだか不思議で奇妙な気持ちになっていた。

もうひとつの七夕

街頭宣伝へご協力を

7月7日は盧溝橋事件69周年の日です。午後1時半から表町天満屋デパートのアリスの広場まで、同封のチラシを配って、市民に日中不再戦を呼びかけます。また、今裁判をしている「残留」孤児のみなさんといっしょに署名と募金を訴えます。時間のゆるす方は、ぜひ大勢、この運動に参加してください。

7月5日は「残留」孤児裁判 第11回口頭弁論

正念場を迎える各地の裁判。東京地裁が5月24日結審するなど、大きな山場に差しかかっています。次回の口頭弁論は、12時50分 岡山地裁の東南角にある弁護士会館に集合します。傍聴にぜひご参加くださるよう訴えます。

各地裁の結審

* 神戸地裁・7月14日 * 名古屋地裁・10月26日 * 広島地裁・11月15日 * 京都地裁・12月 * 札幌地裁・12月

岡山でも、年内に結審の方向です。第12回口頭弁論が9月13日。第13回口頭弁論が11月1日にく。この日に結審の日を決定します。